

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度 第1回 高齢者通所介護施設となりの家 運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和元年 6 月 11 日（火曜日）
開会 午後 2 時 35 分～ 閉会 午後 2 時 57 分

2. 場 所 特別養護老人ホームこころの樹

3. 出席者 鈴木 さつよ（利用者家族代表）
佐藤 稲子（地域住民の代表者）
石崎 可奈子（市役所職員）
佐々木 秀二（包括支援センター）

※委員総数 5 名中 4 名出席（1 名欠員）

高齢者通所介護施設となりの家
武田理恵 所長

社会福祉協議会
遠藤 常務理事 曾根 課長

欠席者 -

1. 開 会

2. あいさつ 遠藤 常務

3. 議 事（要旨）

○現況報告

- ・ 男性 6 名、女性 14 名の利用者が通所中。明日より通所の 1 名を含んでいる。

- ・ 要支援 1 から要介護 4 までの方を受け入れ中。平均介護度は 3 程度。
- ・ 週 1 回利用の方から週 6 回利用の方まで幅広くなっている。平均で見れば約 3 回。
- ・ 月・水・金曜は定員一杯。火・木曜に空きがあり、ケアマネジャー事業所に声がけをしている。火・木曜は男性利用者が多い。
- ・ 認知症の方が相手なので、「今、どのような気持ちで過ごしているのか？」を推察しながらケアをしている。ピリピリしたりするとすぐ行動に移すので、その前に職員がキャッチして穏やかに過ごせるよう導いている。
- ・ 利用者同士の間上下関係が出ている。出来ない人に対して冷たい言い方をしてしまう。職員が間に入り、いい雰囲気になるよう努めている。
- ・ 洗濯物たたみ等、利用者が役割を持てるようしている。ただ、その取り合いがあり、トラブルになりそうな場合もある。一人ひとり合わせた接し方をするようにしている。
- ・ 女性利用者は家事の延長のような生活リハビリとして、洗濯物を干したりたたんだり、食器洗いをしてもらったりしている。
- ・ 家事も出来る人、出来ない人がいる。出来ない人には出来るものを探して手伝ってもらっている。
- ・ 男性利用者は、「なぜここに来たのか？」との思いが強い。安心できるような声がけをしている。
- ・ 認知症を治すことはできない。穏やかに過ごして、機能の低下を防ぎ、認知症の進行を遅らせるようなトレーニングをしている。
- ・ 介護職員不足で頭を悩ませている。資格は取るが、仕事に就かない人が多い。忙しさが利用者に伝わらないよう努めている。

○外出行事について

- ・ 6 月 13 日～14 日午前、せんだい農業園芸センターのバラ園を見学する。
- ・ 昼食は弁当を購入し、施設へ戻ってから食べる。

(武田所長)

鈴木委員のご主人は週 2 回、火曜と木曜に通所されている。

(鈴木委員)

行くのを楽しみにしている。通所前は「嫌だ、嫌だ」と言っていたのに。

(武田所長)

もう 96 歳になる。でも元気だ。

(鈴木委員)

今言ったことをすぐ忘れる。歳も歳なので仕方がない。

(武田所長)

鈴木委員宅は、ご近所の理解も大きい。

(鈴木委員)

皆、親切だ。

(武田所長)

家族はもちろんだが、地域の方々に支えられると本人も穏やかでいられる。

(鈴木委員)

いつもニコニコしている。

(武田所長)

要介護度 5 だったのが、1 になった。

(佐々木委員)

それはすごい。

(鈴木委員)

何でも食べる。歯が無いので柔らかくしている。朝はコーヒーとパン。

(遠藤常務)

ハイカラだ。

(佐藤委員)

歩くのは大丈夫か？

(鈴木委員)

歩けない。トイレと玄関口までがやっと。歩かせようとするのが嫌がる。

(遠藤常務)

駐車場のフェンスが津波で流されそのままになっている。利用者目線では、フェンスがあった方がいいのか？

(武田所長)

フェンスにもよる。緑の「いかにも」はダメ、おしゃれなものであればいい。常に外は見ている。電車、車、人。刺激にはなっている。

(佐藤委員)

若い利用者はいるのか？

(武田所長)

若くても 70 台後半くらい。以前は若年性認知症で 60 歳くらいの方が通所していた。

(石崎委員)

月・水・金曜は女性利用者が多いのか？

(武田所長)

ほぼ女性。そこへ 2 名の男性利用者が入っている。その男性同士は仲が良く、いい空気感を作っている。火・木曜は男性が多いので女性を入れていきたい。

(石崎委員)

曜日によって内容を変えたりしているのか？男性向けとか。

(武田所長)

女性が多い時は裁縫とかしている。認知症でも縫う感覚は残っている。雑ではあるが縫える。やることが大切。

(石崎委員)

男性は何をするのか？

(武田所長)

草取り、畑仕事。今までの生活歴を見ながらお願いする。事務職の方は文字合わせなど。「ただボーっとしているのがいい」という方もおり、無理に何かをやらせることはしない。

(鈴木委員)

ウチはもう何もできない。「食べた茶碗くらい下げて」と言ってもやらない。

(石崎委員)

でも、となりの家に来ること自体は楽しみにしているようだ。

(武田所長)

おしゃべりがとても好きな方だ。

(石崎委員)

畑では何を作っているのか？

(武田所長)

トマト、なす、かぼちゃ、スイカ。シソ、小松菜を味噌汁に入れて食べた。

(佐々木委員)

お宝発表会に鈴木委員が参加されていた。いい雰囲気だった。

(鈴木委員)

今でも「お茶飲み」が近所にある。

4. 事務連絡 次回は 12 月 10 日 (予定)

5. 閉 会